

●本校の実態を踏まえた学力等に関わる成果と課題

| 成果 | 課題 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かすことが好きで、運動への意欲が高い。 ・目標をもって、友達と協力して取り組んでいる。 ・授業、行事を通して集団行動の意識が高まっている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動経験の違いからくる技能の差が大きく、個に応じた指導の充実が必要である。 ・投力、握力の体カテストの記録が都の平均を下回っている。 |

●本校の実態を踏まえた学年ごとの課題及び改善策

| 学年 | 児童の実態及び指導上の課題 | 具体的な授業改善策 |
|-----|--|--|
| 1年生 | ・運動経験の違いによる技能の差が大きい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・系統立てた授業計画を立てる。 ・授業の中での運動量を確保する。 |
| 2年生 | ・運動経験の違いからの技能の差が大きい。 | ・いろいろ運動経験を増やす中で、教え合い学習をしながら、技能を高めていく。 |
| 3年生 | ・運動の技能、経験の個人差が大きい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動の経験を増やし、めあてをもって取り組ませる。 ・ペアやグループで練習したり作戦を考えたりする時間を設け、教え合い、高め合う意識を育てる。 |
| 4年生 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動経験の違いから、技能の差が大きい。 ・めあてをもつと、意欲的に活動する。 | <ul style="list-style-type: none"> ・運動の場の工夫や教え合いをしながら、技能を高める。 ・「投げる」運動や「握って体を支える」運動を継続して行う。 |
| 5年生 | ・運動の技能、経験の個人差が大きい。 | ・運動の技能、経験の差を考慮してルールやグルーピングの工夫をし、教え合い高め合える学習の運動の場の設定をする。 |
| 6年生 | ・運動の技能、個人の経験の差が大きい。 | ・技能や経験の差を考慮して、運動のルールなどを工夫し、お互いに学習の質を高め合える運動を継続して行う。 |

●学校全体で取り組む内容

| |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・体を動かす楽しさや心地よさを味わえる活動にする。 ・自分の体の状態に気付き、調整力を養う感覚づくりの時間を大切にする。 ・運動の場を工夫することで、個に応じた指導、技能の向上を目指す。 |
|---|